

## 第74回高校卒業式～「♪冬の朝も夏の日も 勉め励まん我が友よ」

今年も3月1日を迎え、高校3年生が藤嶺台から巣立っていきました。今年の高3生は、最後の2年間で「コロナ禍の学校生活」となり、制約の多い学校生活となりました。そのような卒業生に敬意を表し、高校教頭として餞の言葉を贈りたいと思います。

コロナ禍という前例のない手探りの中で、新しい取り組みや、創意工夫した活動を実践し自らの手で前例を作り出したことは、卒業生のみなさんの今後の人生に必ずやプラスになることだと思います。また、当たり前の生活や当たり前の出来事が、実は当たり前ではないと気づいたこと、当たり前で流れる日々の生活に感謝することなど、通常であれば思い至らないことに思いを寄せることができた日々であったかもしれません。ですから、コロナ禍での高校生活でありましたが、「新しいことにチャレンジした自信」と「当たり前のことに感謝できる心」にどうか誇りを持ってください。そして、卒業生のみなさんは、これから変化の激しい、変化の予測が付きにくい社会を生きていくことになります。そのような社会だからこそ努力と忍耐は必要であることは言うまでもありません。そして、私は改めて「仏教思想の核心を示すもの」である「縁」の大切さを訴えたいと思います。人との良き出会いという「縁」、さまざまな巡り合わせという「縁」、目の前のチャンスをつかみ取るという「縁」など、「縁」は人生を切り開くものであると認識することが大切です。卒業生のみなさんの行く末に幸多かれと心から願います。



## 春を告げる梅花

今年の1月・2月は、最高気温が低だけでなく、最低気温が低い日が多かったようです。そのせいかわかりませんが、梅の開花が遅かったようです。『高校だより2月号』で遊行寺四十八段の梅のニュースについて書きましたように、木によっては早いものもありましたが、ようやく盛りを迎えた木や、ようやく咲き始めた木などもたくさんあります。高校昇降口前の土手に白梅があり、現在六～七部咲きとなっています。春たけなわの満開の桜の華麗さを否定するつもりはありませんが、早春の梅の凜とした佇まいも日本の風土が醸成した美しさだと思います。これからは、梅の美しさと香りを楽しむことができます。

## 卒業生 矢澤宏太 君

3月2日付神奈川新聞7面スポーツページに「二刀流 成長証明へ 藤嶺藤沢高出身 日体大・矢澤(マ)」という6段抜き(!)の記事が出ていました。本校硬式野球部出身、現在日本体育大学硬式野球部4年生の矢澤宏太君です。サウスポーで最速150<sup>km/h</sup>、50<sup>m</sup>5秒8の快足、チーム屈指の飛距離を誇るバッティングで、「大学野球で投打の二刀流」に挑戦しています。そして、「今秋ドラフト会議の目玉」と言われているのです。例えば、「週刊ベースボール online」の「2022ドラフト番付」では「最高位の東横綱」なのです！今後の矢澤君の活躍と、今秋のドラフト会議に大注目です！

ちなみに、実際どうなるかはわかりませんが、ドラフト会議の約10日後に始まる本校秋の教育実習に来る予定にもなっています。

## 「湘南える」Vol.57 2022年2月26日

藤沢市の各家庭に配布されている折り込み誌の『湘南える』に、先日「遊行上人」となった「他阿一浄上人」の記事が出ていました。「コロナ禍こそ人の命の大切さを実感 思いやりや感謝の気持ちを失わずに」という見出しで、一浄上人を紹介しています。記事中では、次のようにおっしゃっています。「コロナ禍で大変な時期、人の命の大切さをこんなにも実感させられる機会はなかったでしょう。今は、自分の身を守ることで精一杯という方も少なくないですが、他の人へ思いやりや感謝の気持ちを失わずにいてほしいと願っています。」「周りの人に助けられてやってこられましたから、恩返しのつもりで最善を尽くしできる限りのことをしたいと考えています。」

鎌倉時代の一遍上人から数えて75代目のお上人である一浄上人は、「任期制(7年)」となった初めてのお上人です。来る6月の「晋山式」が正式なお披露目となります。

## 【3月の主な行事予定(高校)】

1	火	祝第74回高校卒業証書授与式	毎朝自宅で検温し、 Classi-FIT 報告した上で 登校して下さい。
2	水	高1・2 平常授業(～3/8)	
5	土	高2C 修了茶会	
9	水	高1・2 午前授業(～3/11)	
10	木	進級会議	
12	土	高1・2 特別学習指導日(指名された生徒のみ/～3/15) 2A 修了茶会, PTA総会	
16	水	高1・2 英語レシテーションコンテスト	
17	木	高1・2 進学講演会	
18	金	高1・2 自宅学習日	
19	土	高1・2 修了式(終業式)	